

スイス年金

新変額個人年金保険(無配当)

特別勘定の名称	グローバルマーケット型
主な運用対象の投資信託	クレディ・スイス世界バランス・ファンド (適格機関投資家専用)
投資信託の運用会社	クレディ・スイス投信株式会社

ユニット・プライスの推移



※ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

ユニット・プライスの騰落率

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
グローバルマーケット型	2.12%	▲1.82%	▲4.59%	2.43%	29.44%	34.90%

特別勘定資産内訳

	構成比(%)
現預金・その他	0.4%
投資信託	99.6%
合計	100.0%

【参考】主な投資対象である投資信託の運用状況を掲載

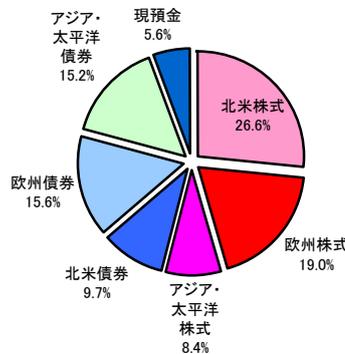
クレディ・スイス世界バランス・ファンド(適格機関投資家専用)

(出所:クレディ・スイス投信株式会社)

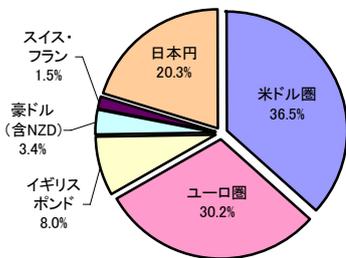
<基準価額の騰落率>

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年
クレディ・スイス世界バランス・ファンド	2.23%	▲1.53%	▲4.04%	3.69%	34.68%

<資産別構成比>



<通貨別構成比>



<運用コメント>

市場概況

12月は金融政策と金融セクターの動きに注目が集まりました。米国とカナダ、英国では政策金利の引き下げが行われ、ユーロ圏では金利を据え置いたものの、市場に流動性を供給して米国住宅市場の下落に起因する様々な問題の世界経済成長への影響を緩和しようとしました。また、欧州と米国の主要銀行の一部は米国のサブプライム問題に関連した更なる評価損の計上や増資を発表しました。コモディティ市場では金と原油が市場最高値を更新しました。原油については米国の在庫水準の低さ、ナイジェリアの政情不安による一段の減産の可能性、トルコとイラクの国境付近における緊張の高まり、ドル安などが背景となっています。マクロ経済指標は米国の耐久財受注や住宅関連指標など軟調なものが目立ち、株式市場の上値を押さえました。

運用概況

12月のファンドのパフォーマンスは基準価額ベースで前月末比約2.2%上昇しました。12月は年末を控え市場で積極的な売買が手控えられたことや、中央銀行の流動性供給が金融市場の不安感を鎮めることに一定の効果を挙げたことから外国株式相場はほぼ横ばい、為替相場は若干の上昇となり、これらがパフォーマンスにプラス寄与しました。また、債券の利回り低下には一旦歯止めがかかりましたが、引き続き債券もプラスのリターンを計上しました。日本株式については、海外の景気見通し悪化の影響を受け若干の下落となりました。ポートフォリオでは、割安と見られる株式を引き続きやや多めに保有し、ドルなど外貨を少なめに保有しています。

運用方針

世界市場の観点から見ると、GDP成長率は米国、カナダ、英国、ユーロ圏主導で年末にかけて鈍化しました。米国住宅市況は依然として厳しい調整局面にあり、企業支出も勢いを失いつつあります。しかし力強いコモディティ市場と内需の伸びが新興国市場の景気を支えています。従来と異なり、中南米を含む新興諸国は先進国の景気循環の影響を受けにくくなっています。このことは翻って先進国経済にとって成長減速のショックを和らげる緩衝材となるでしょう。金融機関の資本調達に加えて政策当局にも物価上昇を抑制しつつ景気後退に陥らないように流動性を供給するなどの手腕が期待されています。ポートフォリオは、割安の度合いを一層増しているグローバル株式をオーバーウェイトとし、割高感が強まっているグローバル債券は少なめとする方針です。為替については、ドルなど外貨をやや少なめに保有する方針です。

※当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。
※その他、裏面の「ご注意いただきたい事項」を必ずご参照ください。

ご注意いただきたい事項

▲ 投資リスクについて

この保険の積立期間(運用期間)中の運用は特別勘定で行われます。特別勘定資産の運用実績に基づいて死亡給付金額、年金額および解約払戻金額等が変動(増減)します。特別勘定資産の運用は、株式および公社債等の価格変動等と為替変動等に伴う投資リスクがあり、運用実績によってはお受け取りになる年金額や解約払戻金額の合計額が一時払保険料を下回る場合があります。これらのリスクはすべてご契約者に帰属します。

▲ 元本欠損が生じる場合があります

諸条件により、ご契約者などが受け取る金額の合計額が、お払込保険料の合計額を下回る場合もあります。保険会社の業務又は財産の状況により、年金額、給付金額、解約払戻金額等が削減されることがあります。

▲ 諸費用について

契約初期費	一時払保険料に対して 5% を特別勘定繰入前に控除します。
保険関係費	特別勘定の資産総額に対して (年率0.75%+運用実績に応じた費用(※)) /365日を毎日控除します。 ※ 運用実績に応じた費用:運用実績を毎日判定し、実績が 年率1.5%を超過 した場合のみ、 超過分1%あたり0.1%(上限1.25%) を控除します。
年金管理費	年金支払開始日以後、支払年金額の 1% を年金支払日に控除します。
資産運用関係費	グローバル・マーケット型 年率0.714%程度

資産運用関係費は将来変更されることがあります。

その他お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金がかかりますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。

その他ご注意いただきたい事項

- 当資料は、特別勘定の主な投資対象である投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 新変額個人年金保険「スイス年金」は、生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者様が直接投資信託を保有されている訳ではありません。
- 新変額個人年金には複数の特別勘定グループが設定されており、「スイス年金」には「特別勘定グループ(TS型)」が設定されています。保険料繰り入れおよび積立金の移転は「特別勘定グループ(TS型)」に属する特別勘定に限定されます。「特別勘定グループ(TS型)」以外の特別勘定グループに属する特別勘定への保険料の繰り入れおよび積立金の移転はできません。
- 特別勘定および特別勘定の主な運用対象となる投資信託の内容が変更されることがあります。
- 特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかに、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用等を特別勘定資産から控除していることなどによるものです。
- ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

ご検討に際しては、「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」をご契約前に十分にお読みいただき、投資リスクや負担いただく諸費用等の内容についてご確認・ご了解ください。また「商品ガイドブック」、「ご契約のしおり-約款」、「特別勘定のしおり」等をあわせてご覧のうえ、お申込みいただきますようお願いいたします。詳細につきましては変額保険販売資格を持つ生命保険募集人にご相談ください。

[募集代理店] 株式会社 東京スター銀行

 **東京スター銀行**

〒107-8480 東京都港区赤坂1-6-16

0120-330-655

(平日9:00~21:00 土日祝9:00~17:00 年末・年始を除く)

AFL-2008-153-20080128/20090228

[引受保険会社]



アクサ フィナンシャル生命保険株式会社

160-8335 東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストウエスト10F

TEL 03-6911-9100 FAX 03-6911-9260

<http://www.axa-financial.co.jp>